

6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

1) 景観の状況

(1) 地域の景観

概況調査範囲は、札幌扇状地の終端部及び石狩低地からなる全体的にほぼ平坦な低地であり、事業区域に面している国道5号(創成川通)に併走する創成川が市街地を南北に貫流しています。山地は広く南西部に、丘陵地は南東部に見られますが、札幌市中心街に位置する事業区域からは遠く離れています。

事業区域の土地利用は市街地となっており、その周辺もまた北海道大学構内など一部に緑地が見られるほかは、市街地とそれに続く住居地域が主となっています。

このため、概況調査範囲の景観は、ビルなどの建築物により構成される市街地の都市景観が主体となっています。

(2) 主要な眺望点の分布及び概況

札幌市における主要な眺望点は、図3-1-11及び表3-1-18に示すとおり、札幌テレビ塔、JRタワー、NORIA、羊ヶ丘展望台、藻岩山、旭山記念公園、札幌ドーム、大倉山展望台、モエレ沼公園があげられます^{30), 31), 39)}。

(3) 主要な眺望景観の概要

主要な眺望点からの眺望景観（主要な眺望景観）の概要は、表3-1-19に示すとおりで、札幌市の眺望点は、市域に広がる市街地・住宅地と市内山地、遠景での市外の山地や石狩湾が眺望できるものとなっています^{31)～38)}。

事業区域は、都心部が遠景となる眺望点では視認することが難しく、距離的に事業区域に近い眺望点からは、ビルの景観に遮られない場合などには明瞭に視認することができます。

表3-1-18 主要な眺望点の概要

図面 対象 番号	主要な眺望点	主要な眺望点の概要
1	さっぽろテレビ塔 展望台	高さ147.2mで大通公園最東端に位置する大通のシンボリック的存在です。 展望台は地上90mの高さにあり、360度を望むことができます。 展望台は入場料が必要で、年末年始の休館日のほか、イベントや地下街営業などによって変更になる場合があります。 2014年営業時間は、4月1日～4月25日は9:30～21:30、4月26日～10月13日は9:00～22:00、10月14日～3月31日は9:30～21:30となります。
2	JRタワー展望室	JR札幌駅に直結した複合施設で、展望室は38階の最上階にあり、遮るものがない地上160mの高さから360度を望むことができます。 展望室は入場料が必要で、年中無休、営業時間は10:00～23:00（最終入場22:30）となります。
3	NORIA (nORBESA(ノルベサ)屋上の観覧車)	観覧車を屋上に配したすすきのの大型商業ビルで、眺望点となる観覧車「NORIA」は最高地上高約78mで、市内を一望できます。 観覧車「NORIA」は有料で、年中無休、営業時間は11:00～23:00（金・土・祝前日は翌3:00まで）となります。
4	羊ヶ丘展望台	羊が放牧される牧歌的風景と、展望台から眺望されるなだらかな丘陵地の向こうに広がる札幌市街地がコントラストをなす景勝地です。 入場料が必要で、営業時間は10月～4月は9:00～17:00、5～6月は8:30～18:00、7月～9月は8:00～19:00となります。
5	もいわ山頂駅 (山頂展望台)	札幌市のほぼ中央に位置する眺望と原始林で知られる観光スポットで、標高531mの山頂の展望台からは、市街地のほか石狩湾や増毛暑寒別連峰まで望めます。 なお、改修工事を行い、平成23年12月にリニューアルオープンしました。
6	旭山記念公園 展望台	札幌市創建100年記念事業のひとつとして造成され、藻岩山や円山に隣接した高台にある、森や広場などの施設を有する公園で、展望台は標高137.5mに位置しています。
7	大倉山展望台	冬季オリンピック札幌大会90m級ジャンプ（現ラージヒル）の舞台となった場所で、標高307mにあるジャンプ競技スタート地点の展望ラウンジからは、札幌市街地や石狩平野を一望できます。 展望ラウンジには有料のリフト（大会、公式練習時は運休）で登り、2014年休業日は4月7日～4月18日、営業時間は4月19日～4月28日は9:00～17:00、4月29日～11月3日は8:30～18:00、11月4日～4月6日は9:00～17:00となります。
8	札幌ドーム展望台	スポーツをはじめ音楽等の様々な大規模イベントの拠点となる全天候型多目的ドームで、ドーム内の展望台から札幌の町並みを一望できます。 展望台は利用料が必要で、営業時間は10:00～18:00（イベント開催の都合により変更になる場合があります）となります。
9	モエレ沼公園 モエレ山山頂	モエレ沼公園は、「環状グリーンベルト構想」における北部平地系緑地の拠点公園として、故イサム・ノグチ氏によって基本計画が策定され、造成されました。園内の標高62mのモエレ山は、札幌市北東部唯一の山として地域のランドマークとなっており、頂上からは公園全体だけでなく、札幌市内全体を見渡す展望台となっています。 公園への入場は無料で、休園日はなく、通年解放な東入口ゲートの開放時間は7:00～22:00（入場は21:00まで）となります。

ようこそさっぽろ運営委員会「ようこそさっぽろ 探す 歴史、自然と公園、スポーツ、ショッピング、レクリエーション」³⁰⁾
モエレ沼公園「モエレ沼公園 公園について、施設のご案内 モエレ山」³¹⁾
(平成26年5月アクセス)

表3-1-19 主要な眺望景観の概要

主要な眺望点	眺望景観の概要
さっぽろテレビ塔 展望室	360度を望める眺望点で、藻岩山、三角山、手稲山などの山地部や石狩湾方面まで遠望でき、札幌市街地や住宅地を広く眺望できます。大通や札幌駅周辺の中心街が近景としてはっきりと視認されます。
JRタワー展望室	遮るものが無い360度を望める眺望点であり、広く札幌市域を見渡すことができます。藻岩山、円山、大倉山、手稲山などの札幌市の山地から、遠く小樽方面や石狩湾、夕張岳や芦別岳、恵庭岳までも望むことが可能です。札幌駅周辺の中心街が近景として見下ろす形ではっきりと視認されます。
NORIA (nORBESA(ノルベ サ)屋上の観覧車)	市内を一望でき、周辺の札幌市中心街を見渡すことができます。近景はビル街となっていますが、藻岩山や円山などの山地以外の遠景はあまり明瞭に眺望されません。
羊ヶ丘展望台	札幌市街地を市城南側を除き比較的低い高さから遠望する形となります。なだらかな丘陵地の向こうに遠景として市街地が望めます。
もいわ山頂駅 (山頂展望台)	札幌の市街地や住宅地を市城南西方向から広く眺望する形となり、石狩湾や増毛、暑寒別連峰まで望むことができ、札幌市街地は中景～遠景となって広く展望できます。なお、改修工事を行い、平成23年12月にリニューアルオープンしました。
旭山記念公園 展望台	藻岩山や円山に隣接し、札幌の市街地や住宅地を市城南西方向から眺望する形となり、石狩平野や日本海を眺望でき、札幌の市街地を広く展望できます。
大倉山展望台	石狩平野や札幌市街地を市城西方向から広く展望でき、近くに眺望できる円山の向こうに大通公園が真正面に伸びているのが視認できます。同じく市城西側から展望する形となる旭山記念公園展望台よりも遠景で札幌市街地が眺望されます。
札幌ドーム展望台	市城南東側を除いた札幌市街地のほか、石狩湾、夕張岳まで遠望できます。札幌市街地は遠景となって都市景観として展望されます。
モエレ沼公園 モエレ山山頂	札幌市北東部唯一の山として、公園全体だけでなく市内全体を見渡す展望台となっています。主に東区域の緑の多い景観が眺望され、市街地は遠景として展望されます。

羊ヶ丘展望台事務所「さっぽろ羊ヶ丘展望台オフィシャルサイト 羊ヶ丘写真展一覧」³²⁾

北海道観光事業株式会社「さっぽろテレビ塔公式サイト テレビ塔展望台」³³⁾

ノルベサ運営事務所「観覧車&商業施設NORBESA ノリアビュー」³⁴⁾

株式会社札幌振興公社「札幌大倉山展望台 展望ラウンジ」³⁵⁾

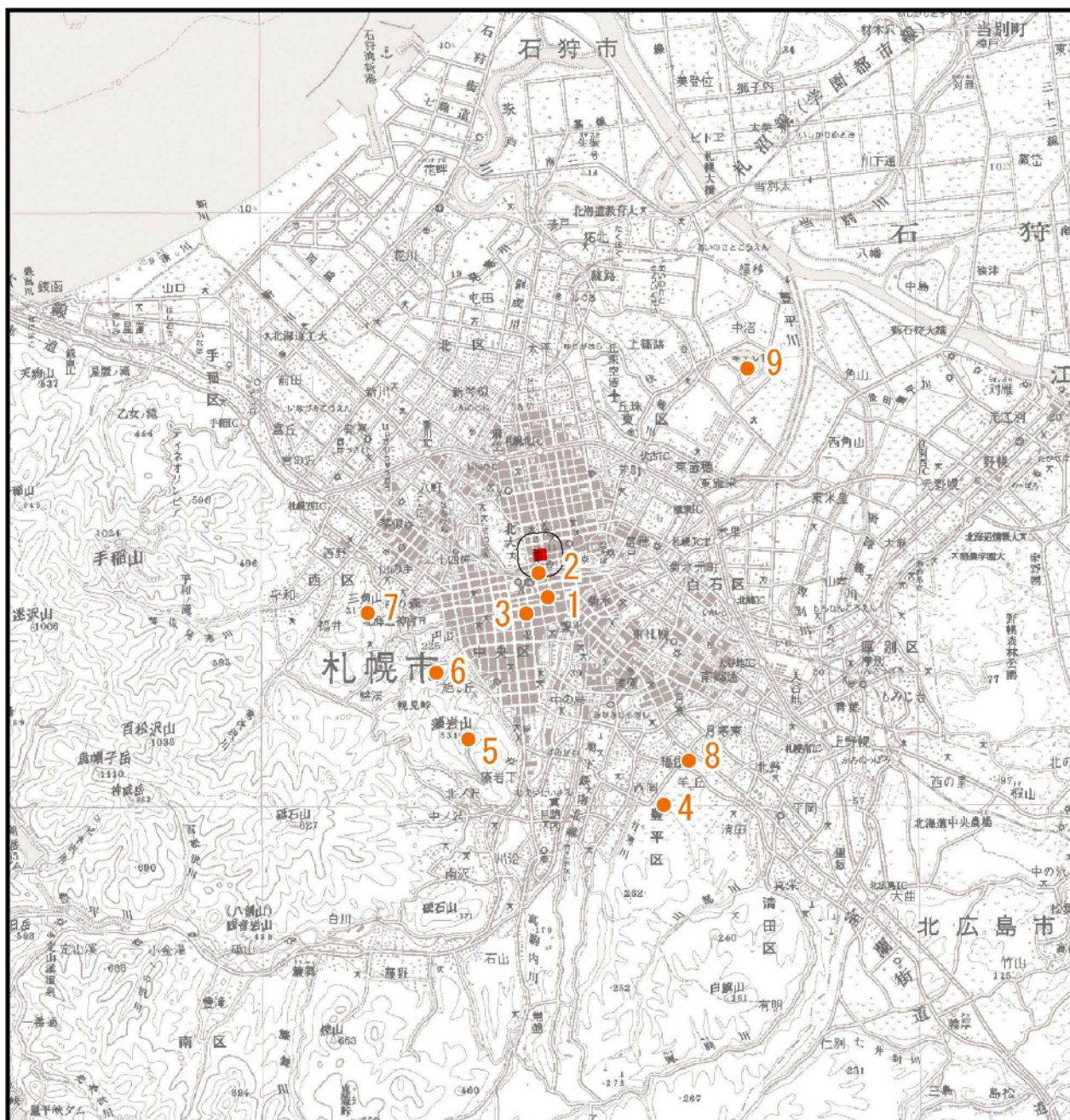
札幌駅総合開発株式会社「JRタワー展望室 タワー・スリーエイト 眺望」³⁶⁾

株式会社札幌振興公社「札幌もいわ山ロープウェイ」³⁷⁾

株式会社札幌ドーム「札幌ドーム 展望台」³⁸⁾

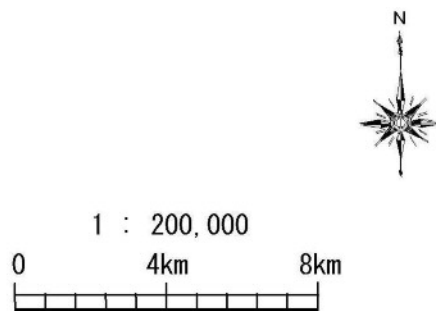
モエレ沼公園「モエレ沼公園 施設のご案内 モエレ山」³¹⁾

(平成26年5月アクセス)



凡 例		
●	1	さっぽろテレビ塔展望室
	2	J R タワー展望室
	3	NORIA (NORBESA (ノルベサ) 屋上の観覧車)
	4	羊ヶ丘展望台
	5	もいわ山展望台
	6	旭山記念公園展望台
	7	大倉山展望台
	8	札幌ドーム展望台
	9	モエレ沼公園モエレ山山頂
■		事業区
○		関係地

図3-1-11 主要な眺望点位置図



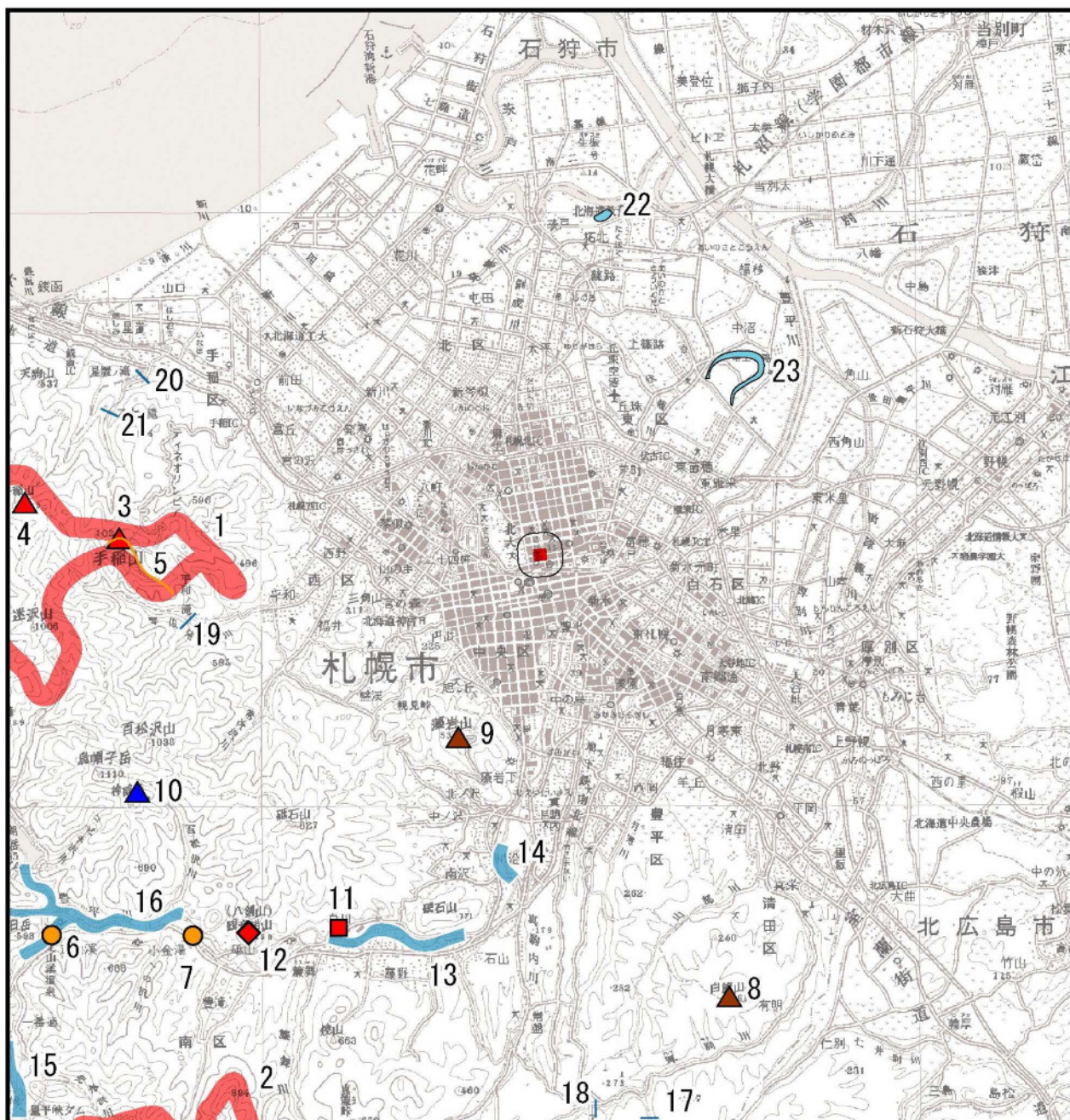
(4) 景観資源の分布及び概況

札幌市の自然景観資源は、「第3回自然環境保全基礎調査（自然環境情報図）」（平成元年 環境庁）⁴⁰⁾において、表3-1-20及び図3-1-12に示すとおり選定されており、事業区域から離れたところに位置しています。

表3-1-20 札幌市における自然景観資源

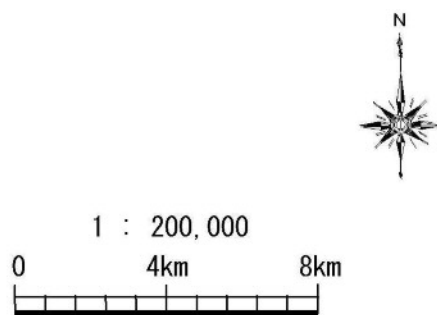
図面 対照 番号	自然景観 資 源 名	名 称	図面 対照 番号	自然景観 資 源 名	名 称
1	火山群	手稲火山群	13	峡谷・溪谷	豊平川・十五島公園付近
2		札幌	14		豊平川・藻南公園付近
3	火山	手稲山	15		豊平峡
4		奥手稲山	16		豊平川定山溪付近
5	特徴的な稜線	手稲山	17	滝	鱒見の滝
6	噴泉	定山溪温泉	18		アシリベツの滝
7		黄金湯温泉	19		平和ノ滝
8	非火山性孤峰	白旗山	20		星置の滝
9		藻岩山	21		乙女の滝
10	岩峰・岩柱	神威岳山頂部	22	湖沼	ペレケット沼
11	節理	簾舞河岸の柱状節理	23		モエレ沼
12	岩脈	観音岩山稜部			

環境庁「第3回自然環境保全基礎調査（自然環境情報図（胆振・石狩・空知）」（平成元年）⁴⁰⁾



凡 例							
	1	火 山 群	手 稲 山 火 山 群		13	 峡谷・溪谷	豊平川・十五島公園付近
	2		札 幌		14		豊平川・藻南公園付近
	3	火 山	手 稲 山		15		豊 平 峡
	4		奥 手 稲 山		16		豊平川定山溪付近
	5	特徴的な稜線	手 稲 山		17	 滝	鱒 見 の 滝
	6	噴 泉	定 山 溪 温 泉		18		アシリベツの滝
	7		黄 金 湯 温 泉		19		平 和 ノ 滝
	8	非火山性孤峰	白 旗 山		20		星 置 の 滝
	9		藻 岩 山		21		乙 女 の 滝
	10	岩峰・岩柱	神 威 岳 山 頂 部		22	 湖 沼	ベケレット沼
	11	節 理	藻舞河岸の柱状節理		23		モ エ レ 沼
	12	岩 脈	観 音 岩 山 稜 部		24		
	事 業 区 域						
	関 係 地 域						

図3-1-12 自然景観資源位置図



2) 人と自然との触れ合いの活動の状況

人と自然との触れ合いの活動の場としては、北海道自然環境保全指針に基づく身近な自然や、市民の森、都市環境林、自然歩道、広域公園、総合公園、特殊公園、風致地区などがあげられます。

概況調査範囲及びその周辺の人と自然との触れ合いの活動の場としては、表3-1-21及び図3-1-13に示すとおり、北大植物園、北大ポプラ並木、大通公園、豊平川緑地、創成川公園があげられます^{41)～48)}。いずれも、事業区域から離れたところに位置しています。

なお、創成川通は、「緑を感じる都心の町並み形成計画（平成17年度策定）」の中で「やすらぎの軸」と位置づけられており、北3条～南5条線間のアンダーパス連続化事業の一環として、アンダーパス地上部が創成川公園として、潤いと憩いの場としての親水緑地空間として創出され、平成23年度に供用開始されました。

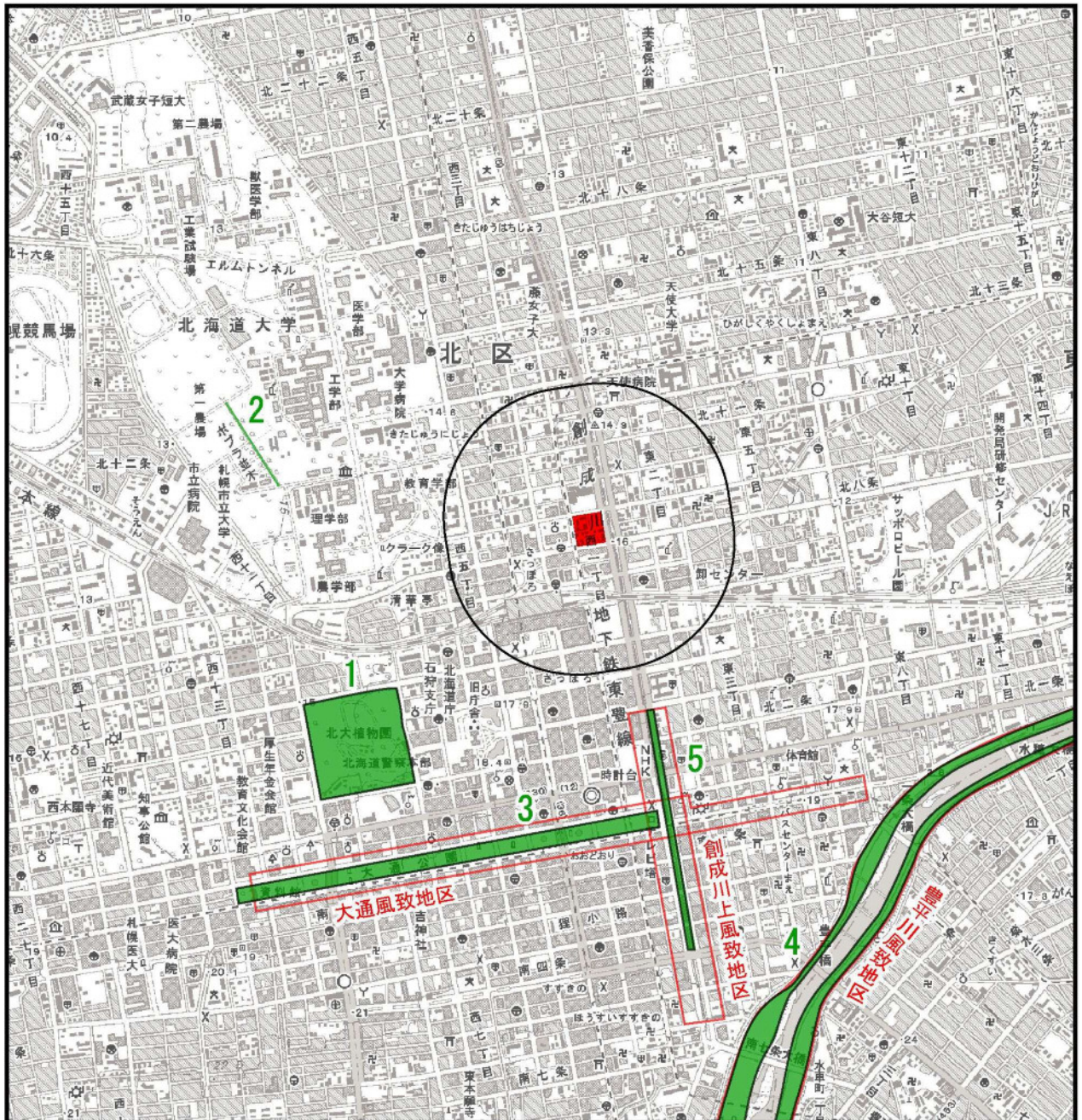
表3-1-21 (1) 人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び概要

図面 対象 番号	主要な人と自然との 触れ合いの活動の場	施 設 の 概 要
1	北大植物園	札幌駅から徒歩10分の、北海道庁西の札幌市中央部市街地に位置し、都会のリラクゼーションの場、植物への知的好奇心を満たす場として良質な環境が提供されています。園内は、ハルニレの巨木や湿地など、サクシュコトニ川の水源のあった原始の姿を留め、また、樹木園、高山植物園、灌木園、草本分科園、北方民族植物標本園、温室などがあり、北方地域や高山の植物などに触れることができます。北方資料館、重要文化財の植物園・博物館、登録有形文化財の宮部金吾記念館も存在しています。面積は約13.3haです。
2	北大ポプラ並木	札幌駅から北西側徒歩20分の、札幌市中央部北海道大学のキャンパス内に位置し、樹齢100年にもなる約50本の大きなポプラ並木の牧歌的風景は、全国的に観光地としても知られています。平成16年の台風18号により、半数近くのポプラが倒壊しましたが、倒木の立て直し、若木の植樹が行われ、立ち入り禁止となっていた並木道も現在は一部散策が可能となりました。並木は約250～300mの長さで連なっています。
3	大通公園 (大通風致地区)	東西に長く地下鉄南北線・東豊線大通駅及び地下鉄南北線西11丁目に直結する、札幌市のまさに中心地に位置し、都心の緑の空間として、また雪祭りなどの様々なイベント会場として利用され、全国的にも有名な公園です。また、東端に位置するさっぽろテレビ塔の展望台からは市内や市外の遠景を360度眺望できます。西端には札幌市資料館（旧札幌控訴院）が存在します。 面積は約7.9ha（風致地区は34.8ha）、その他施設として、噴水・壁泉、遊水路、花壇・庭園、野外ステージ、トイレなどが整備されています。

表3-1-21 (2) 人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び概要

図面 対象 番号	主要な人と自然との 触れ合いの活動の場	施 設 の 概 要
4	豊平川緑地 (豊平川風致地区)	札幌市街地を縦断する全長72.5kmの豊平川兩岸河川敷に広がり、雁来大橋左岸地域の自然保護区域、芝生や花壇などの緑、水遊びができる徒渉池やウォーターガーデン、休憩施設のほか、野球場やパークゴルフ場などの運動施設、サイクリングコース、イベント広場なども整備されており、スポーツや散歩をする人たちが一日中訪れます。また花火大会などのイベントも各種開催され、様々に利用され、親しまれ楽しまれています。 面積は約123.8ha（風致地区は328.8ha）、その他施設として駐車場なども整備されています。
5	創成川公園 (創成川上風致地区)	豊平川から取水する中島公園内を流れる鴨々川と接続し、市街地を南から北へと貫流する歴史ある創成川の風致地区は、河岸のシダレヤナギの並木で市民に親しまれてきました。平成23年春には北3条～南5条線間のアンダーパス連続化事業の一環として緑地空間が再整備され、創成川公園として親水緑地空間が創出されました。 面積は、約1.8ha（風致地区は12.4ha）、その他施設として身障者対応トイレなども整備されています。

ようこそさっぽろ運営委員会「札幌市の公式観光サイトようこそさっぽろ 探す 歴史
北海道大学 ポプラ並木」⁴¹⁾
札幌市「札幌市 公園検索システム 中央区 大通公園、豊平川緑地、創成川公園」⁴²⁾
札幌市「札幌市 公園緑地の統計 特殊公園、都市緑地、風致地区」⁴³⁾
北海道「北海道 環境生活部 自然環境課 自然環境保全指針」⁴⁴⁾
札幌市「札幌市 緑を守り育てる制度 取組みの状況 創成川通のみどり」⁴⁵⁾
北海道大学「北海道大学植物園 北大植物園について」⁴⁶⁾
札幌市「札幌市 創成川アンダーパスの連続化（中央区）」⁴⁷⁾
(平成25年4月アクセス)



凡 例		
風致地区	1	北 大 植 物 園
	2	北 大 ポ プ ラ 並 木
	3	大 通 公 園
	4	豊 平 川 緑 地
	5	創 成 川 公 園
		事業区域
		関係地域

図3-1-13 人と自然との触れ合いの活動の場位置図

